

Trofeo Laigueglia Race Preview

2025シーズン初のイタリアレース「トロフェオ・ライグエーリア」に参戦



レース期間：3月5日

距離：190,7 km

UCIカテゴリー：!.Pro

参加チーム：25チーム (8 WT, 9 PT, 8 CT)

出走選手数：175人

JCL TEAM UKYOメンバー：アレッシンドロ・ファンチェル、マルク・カベド、アンドレア・ダマート、ニコロ・ガリッポ、小林 海、シモーネ・ラッカーニ、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.laiguegliaiborgodamare.com/trofeo-laigueglia>

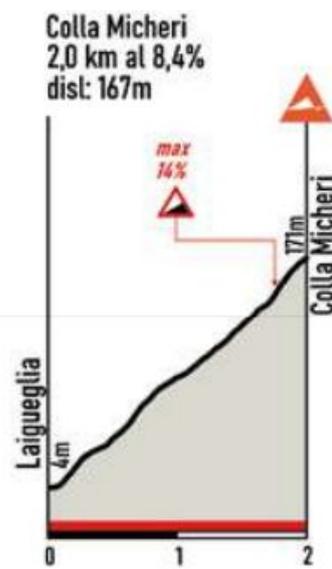
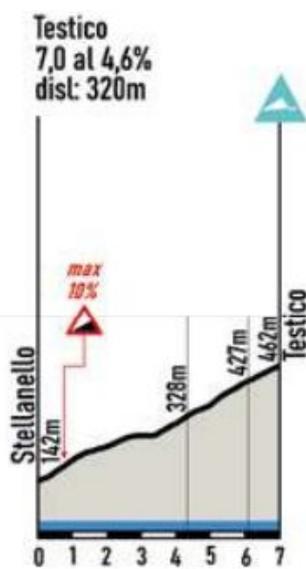
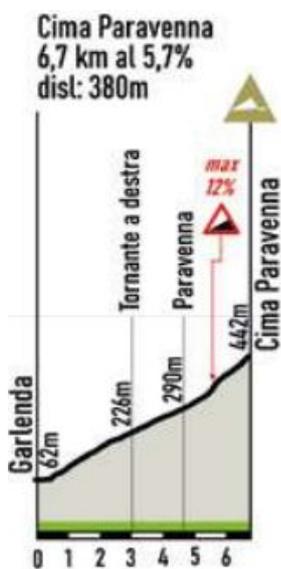
JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>



アルウラ・ツアーとツアー・オブ・オマーンで満足のいくシーズンのスタートを迎えた JCL TEAM UKYOが 2025年シーズンのヨーロッパでのレースカレンダーをスタートさせる。

チームは去年に引き続き、3月5日に開催されるトロフェオ・ライグエーリアに招待された。この 1.Proカテゴリーのレースは今回で第 62回を迎え、過去には伝説的サイクリストのエディ・メルクスも 2度制したことがある。

JCL TEAM UKYOは、競争力のあるメンバーを揃えてレースに挑む。日本チャンピオンの小林海が出場。さらに、直前に行われたツール・ド・ルワンダのクイーンステージを制したばかりのエリトリア出身のナホム・ゼライは、現在の好調を生かしてイタリアのクラシックレースで結果を狙う。アフリカのクライマーである彼は、今シーズン 2戦目となる若手スペイン人のマルク・カベドのサポートを受ける。JCL TEAM UKYOのトロフェオ・ライグエーリアのメンバーには、さらに 4名のイタリア人ライダーが加わる。アレッサンドロ・ファンチェルは、アルウラ・ツアーの総合 8位という好成績を経て、上位を狙える状態にある。また、開催地に近いインペリア出身のニコロ・ガリッポも地元レースで力を発揮するだろう。さらに、シモーネ・ラッカーニとスプリンターのアンドレア・ダマートが、チームメイトのために重要な役割を果たすことになる。



トロフェオ・ライグエーリアのコース詳細

レースは総距離 190.7kmで、スタートとフィニッシュはライグエーリアに設定されている。アラッジオ郊外のスタート地点から最初の 23kmは完全に平坦。その後、最初の登りであるオンツォへの上り坂があり、ここで逃げ集団が形成される可能性が高い。続く急カーブの多い長い下りは、集団にとってテクニカルな区間となる。

57km地点にはこのクラシックレース最初の山岳ポイントがチーマ・パラヴェンナに設定されている。ガルレンダから山頂までの登りは 6.7km、平均勾配 5.7%、最大勾配 12%と厳しい。その後、ライグエーリアへ戻り、フィニッシュ地点を最初に通過する。

レースはカポ・メーレを通過し、次の山岳ポイントテストィコへ向かう。この登りは 7kmで、平均勾配 4.6%。山頂は残り 79km地点に設定されている。その後、再びチーマ・パラヴェンナを通過し、ライグエーリアへ戻る。

フィニッシュラインを 2回目に通過すると、選手たちは最終周回コースに入る。各周回は 10.8kmで、その中でも最初の 2kmにあるコッラ・ミケーリの登りは、平均勾配 8.4%、最大勾配 14%と極めて厳しい。この登りを越えた後、テクニカルな下りと短いカポ・メーレの登りが待ち受ける。最後の 1kmは最初は緩やかな下り、最後の 500mは完全に平坦で、スプリントの展開も考えられる。

アレッサンドロ・ファンチェルのコメント

「調子は良いです。アルウラ・ツアーとツアー・オブ・オマーンの後、しっかりトレーニングを積みました。トロフェオ・ライグエーリアでは、勝負どころで前方にいることを目標にしています。スタートリストを見ると強豪揃いで簡単ではありませんが、良い結果を出せると思います。チームの状態も良く、ゼライがツール・ド・ルワンダでステージ優勝したことで彼のポテンシャルが示されました。JCL TEAM UKYO全体としても、レースの重要な場面で存在感を発揮できるでしょう。最終周回で 2~3人が勝負に絡めると確信しています。」

歴代優勝者

2024 MARTINEZ Lenny

2023 PETERS Nans

2022 POLANC Jan

2021 MOLLEMA Bauke

2020 CICCONE Giulio

2019 VELASCO Simone

2018 MOSER Moreno

2017 FELLINE Fabio

2016 FEDI Andrea

2015 CIMOLAI Davide

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼 (広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪 (広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

